



福田 勝之

一般社団法人東北経済連合会 副会長

地域経済の活性化に向けて 商工会議所の取り組み

我が国経済は回復基調にあるとはいえ、地方においては、個人消費の低迷、少子高齢化、人手不足などの影響を受け、特に中小・小規模事業者の景況感は依然厳しい状況にあります。

このような状況の中、地域経済の活性化を図るべく、商工会議所としましては様々な取り組みを進めておりますが、交流人口の増加につながる観光産業の振興、特に急激に伸展を続ける訪日外国人(インバウンド)については注目をしています。成長市場である訪日外国人観光客、さらには彼らによる消費をいかに地方に呼び込むかが、今後のポイントのひとつだと考えています。

そのような中、昨年、当地新潟に7万t級のクルーズ船(コスタ・ビクトリア号)が初めて寄港し、多くの外国人観光客が観光やショッピングを楽しみました。

また、本年4月には9万t級のセレブリティ・ミレニアム号が「日本一周春色クルーズ」として寄港予定です。同船は、横浜港を出航し、長崎港、釜山港に寄った後、新潟、青森、仙台にも寄港予定で、寄港5都市のうち3都市が東北経済連合会管内という誠に喜ばしい行程になっております。なお、今回は国内発着のため、日本人乗船客の割合が多いことが予想されますが、今後は国内観光客のみならず、多くの外国人観光客の誘致に向けて、外国船社に対する新潟を含めた東北全体のアピール、働きかけを強めていくことが求められます。

そのためにも、前後の寄港地との広域連携による役割分担で相乗効果を図ることが新たな可能性を示すものと考えますので、地域全体で手を取り合い、魅力を高めあっていくことが必要だと思えます。

また、商工会議所では、地域の経済と雇用を支えている中小・小規模事業者の活力が地域経済の活性化に直結しているとの観点から、平成26年9月に施行された「商工会及び商工会議所による小規模事業者の支援に関する法律の一部を改正する法律」を受けて、「経営発達支援計画」の策定及び認定申請を行っています。

同計画の認定を受けた商工会議所では、国の補助により小規模事業者の事業計画作成などの個社支援及び地域活性化にもつなげる展示会開催等の面的な支援の取り組みを展開しています。

新潟商工会議所でも、特に小売業・サービス業においては、商圏の市場性や立地環境などが、経営状況を左右する大きな要因となっていることから、「商圏分析ツールの活用による小規模事業者の売上増加支援」や、これまで展示・商談会への参加が積極的ではなかった小規模事業者に対し出展に関する経費を負担することで、販路拡大を支援する「各種見本市・展示会への出展支援」などを実施しています。

このような取り組みを着実に進め、地域経済の活性化につなげていくことが、本当の意味の地方創生に結びついていくのだと確信しています。

((一社)新潟県商工会議所連合会 会頭・ふくだ かつゆき)